【一時監査役職務代行者選任申立書のサンプル】

|  |  |
| --- | --- |
| 収入印紙  1000円 | 一時監査役職務代行者選任申立事件 |

令和○年○月○日

大阪地方裁判所第４民事部　御中

申立人代理人弁護士　　　○　○　○　○　　印

　　　　　　　〒○○○－○○○○　大阪市○○区○○町○○番地○○号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申　　 立　　 人　　　○　 ○　 ○　 ○

（送達場所）〒○○○－○○○○　大阪市北区西天満○丁目○番○号

上記代理人弁護士　　 ○　 ○　 ○　 ○

ＴＥＬ　０６－○○○○－○○○○

ＦＡＸ　０６－○○○○－○○○○

申　立　て　の　趣　旨

　○○工業株式会社の一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者の選任を求める。

　　　　　　　　　　申　立　て　の　理　由

第１　当事者等

　１　申立人は，○○工業株式会社（以下「当会社」という。）の代表取締役である（資料１）。

　２　当会社は，最終事業年度に係る貸借対照表に資本金として計上された額が金○○億○○○○万○○○○円，株主総数は約３０００名で，当会社の株式を譲渡又は取得するについて，当会社の承認を要する旨の定款の定めを設けていないため，会社法上の大会社であり（会社法２条６号イ），かつ，公開会社（同条５号）である（資料１）。

　　　したがって，当会社は，会社法３２８条１項及び同３３５条３項により，監査役会を設置し，かつ，監査役を３名以上とし，さらにその過半数は社外監査役でなければならない（資料２）。

　　　なお，当会社の従前の監査役は３名であり，内２名が社外監査役であった。また，補欠として選任された監査役はいない。

第２　監査役（社外監査役）の欠員

　　　今般，監査役（社外監査役）○○○○が急死し，監査役（社外監査役）に欠員を生じることとなった（資料５）。

第３　仮監査役選任の必要性

　１　当会社の事業年度は，毎年○月○日から翌年○月○日であり，定時株主総会は，各事業年度の末日の翌日から３か月以内に開催されるべきものとされており，次回の定時株主総会は令和○年○月○日である（資料９）。

２　当会社は，監査役（社外監査役）の死亡を受けて，前記定時総会までに，新たな監査役（社外監査役）を選任すべきところ，多数の株主を擁し，かつ，多額の費用を要するため，臨時株主総会を開催することは極めて困難である。

第４　まとめ

したがって，申立人は，会社法３４６条２項に基づき，当会社の一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者の選任を申し立てる。

なお，当会社は，一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者として，下記のものを推薦する。

下記の者が一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者に選任されることについては，当会社の監査役はいずれも同意しており，かつ同人は，次期定時総会において監査役（社外監査役）に選任される見込みのある者である（資料６ないし資料９）。

記

候補者

１　住　　所　○○市○○町○○番地○○号

　　　 ２　氏　　名　○ ○ ○ ○

３　生年月日 昭和○○年○○月○○日

　　　 ４　職 業 税理士

５　経　　歴　別紙のとおり

添付資料

１　当会社の履歴事項全部証明書

２　当会社の定款写し

３　当会社の最終事業年度の貸借対照表

４　株主名簿

５　死亡監査役（社外監査役）の戸籍全部事項証明書

６　候補者に関する各監査役の意見書

７　候補者の就任承諾書

８ 候補者の経歴書

　　 ９　次期定時総会における候補者選任見込み関する報告書（申立人（当会社代表取締役）作成）

10　監査役報酬に関する報告書（申立人（当会社代表取締役）作成）

添付書類

１　委任状

２　申立書及び添付資料写し